

空き家にもう一度命を吹き込む

人と家をつなぐ縁



田原市の空き家事情

市内には空き家が約1540件あり、そのうち200件程度が利用可能な物件です。

田原市では、平成21年から空き家・空き地を貸したい・売りたい人と借りたい・買いたい人の橋渡しをする空き家・空き地バンク制度を行っています。

しかし現在、空き家・空き地バンクに登録されている件数は、空き家が6軒、空き地が2件。まだまだ登録が少ない状況です。

空き家となる要因はさまざまです。子どもが独立し親と同じ家に住まず、その後、親が亡くなると空き家になるケースが多く、核家族化の進行に伴うところが大きな要因となっています。

空き家を活用する

建物は劣化するものです。

しかし、人が住み暮らすことにより、建物は長持ちします。

もし、空き家を管理せずに放っておいて、建物が倒壊したり、物が落下したりして、人に被害

を及ぼすと、建物の所有者は損害賠償など管理責任を問われることがあります。

空き家活用のメリット

- ・人が住むと換気されるので、家のカビや腐敗を抑えられる。
- ・こまめに修理ができ、家が長持ちする。
- ・人口が増え、地域が活性化する。

空き家活用促進補助金

田原市では、耐震性のある建物、または他の条件を満たす建物の設備工事および内装工事などに対して、補助対象経費の2分の1（上限50万円）を補助しています。

※市外からの転入者の場合は上限80万円（転入者未就学児童1人につき、さらに10万円加算）
※詳しくは、建築課へお問い合わせください。

